

令和7年度

がんサバイバーシップ研究 成果発表会・セミナー

開催日

令和8年2月18日(水)

開催形式

完全WEB開催 (Zoom)

参加申込

QRコードまたはURLよりお申込みください
<https://www.fpcr.or.jp/news/view/196>



参加費
無料

第1部
10:05～11:50

がんサバイバーシップ研究 成果発表会

1 齊藤 祐毅

(東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

頭頸部がんサバイバーシップ プログラムの構築

2 中口 拓真

(医療法人明星会 星野クリニック)

地域在住の悪液質高齢がんサバイバーに 対する訪問リハビリテーションの支え

—生活の質と栄養状態を支える包括的な在宅ケアの実態調査—

3 遠山 栄介

(田上病院 リハビリテーション科)

食道癌術後患者に対する退院後の 遠隔リハビリテーションシステムの展開： 実現可能性の検証

4 西川 英里

(東京都立小児総合医療センター 緩和ケア科)

AYA世代がんサバイバーの 心理社会的回復に有効な因子の探索

5 大町 太一

(関西医科大学 小児科学講座)

メタバースを活用した小児がんサバイバー がつながり合う空間の開発

第2部
13:00～15:30

がんサバイバーシップ研究 セミナー

テーマ

がんサバイバーが 地域で活用できる社会資源

司会進行

竹内 朋子 (東京医療保健大学大学院 教授)

田中 徳雄 (京都薬科大学 常任理事)

ご挨拶

鶴田 真也

(厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課長)

講演

西 智弘

(一般社団法人プラスケア 代表理事／
川崎市立井田病院 腫瘍内科部長)

社会的処方と暮らしの保健室

黒田 尚子

(黒田尚子FPオフィス 代表／
一般社団法人患者家計サポート協会 顧問)

ファイナンシャルプランナー(FP)による がんサバイバー支援における役割と必要性

清水 理恵子

(国立がん研究センター中央病院
がん相談支援センター がん相談専門統括職)

そうだ、がん相談支援センターに行こう ～不安を話せる場所がある～

三上 洋

(ITジャーナリスト)

がんサバイバーによる SNS・YouTubeの活用と問題点

(敬省略)

後援

厚生労働省

主催

公益財団法人 がん研究振興財団

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-8 新京橋ビル5階

☎ 03-6228-7297 ✉ info@fpcr.or.jp

